

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム 夢
日付	平成18年2月3日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 介護経験歴6年
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>グループホームの運営も3年立ち、ここで初心に帰り、入居者と一緒に時間を過ごす事で、いつも必要な時にそばにいて、支えてくれる頼みの綱として受け入れてもらえるように日々努力されていきました。</p> <p>入居時や面会時に家族との話し合いが良く出来ていて、いざと言うときの話も出来ていました。</p>
<p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>地域との交流をもっと積極的に考えてもらいたいと思います。管理者の前向きさはよく分かりますが、その前向きな姿勢で、職員の育成を一つの楽しみとして、感動ある職場を職員全体で感じ取れるよう、また、全ての人々に伝わる様な行動を築き、より良いグループホームが形成されて行くと思います。</p>

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 記述 回答	グループホームとしてめざしているものは何か (記述式で回答) 「安心と信頼」をモットーに大きな家族と思って、職員は入居者に接することを旨としています。自分が大切にされていると思えるように接し、声かけや見守りを行っています。そして、個人個人に合わせて、続けたいことがあれば続けさせてあげたいと言う思いで入居者の方々に接しています。 家族としっかり話し合いが持たれ、できるだけ面会に来てもらおうとしています。家族会を定期的に行って、家族の交流も図っています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 記述 回答	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か (記述式で回答) 趣味を増やしてもらっています。また、手作業などを通じて、集団の中で自らの役割を見出してもらおうとしています。週に何度か、ボランティアの人が来てくれます。入居者とずっと一緒にいて世話をしてくれます。ゆっくりと時間をかけて会話をしています。 また、入居者は家族の声を聞くと落ち着くようです。家族にお願いして、事あるごとに訪問してもらったり、電話をかけてもらっています。帰宅願望の強い人には車で出掛け、自宅を見に行っています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライトを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 記述 回答	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か (記述式で回答) 畑の草取り、洗濯物を干したり片付けたり、食事の手伝いなど、入居者個々に出来ることをお願いしています。レクリエーションでは手作業もしています。手作業で作った作品をグループホームの玄関に飾り、家族や近所の人に見てもらっています。居室のドアには、のれんを掛けて直接部屋の中が見えないようにしています。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 記述 回答	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 グループホームとして出来ることを意識して、家族には入居時に特養への申し込みをお願いしています。何かあったとき、家族に選択してもらえようといういろいろな施設と連携を取っています。 目安箱を作り、職員からも意見をもらっています。家族との話し合いを重視し、入居時や訪問時にしっかりと話し合いが持たれています。		